

■重要施策

()内は前年度決算額

① 安全・安心の確保

1,973,347千円 (2,236,009千円)

安全を最優先とする組織風土を確立するため、運輸安全マネジメントのスパイラルアップを図るとともに、教育訓練の充実などによる安全スキルの向上や、施設・車両などの安全性確保、様々な自然災害やテロ対策の強化等に取り組んだ。

また、安全・安心の取組みに関する情報を積極的に発信した。

ア 施設、車両などの安全性の確保

1,931,493千円 (2,160,483千円)

トンネルなどの土木構造物について、長期的な補修計画に基づき補修工事を実施するとともに、経年劣化した駅の内外装や七隈線運行管理システムを計画的に改修・更新し、施設・設備等の安全性の確保に取り組んだ。

また、車両については、2000系車両の大規模改修や3000系車両の列車制御装置の更新等を行い、安全性や快適性を向上させるとともに、運用開始から40年が経過した1000N系車両更新のため、新造車両製作を推進した。

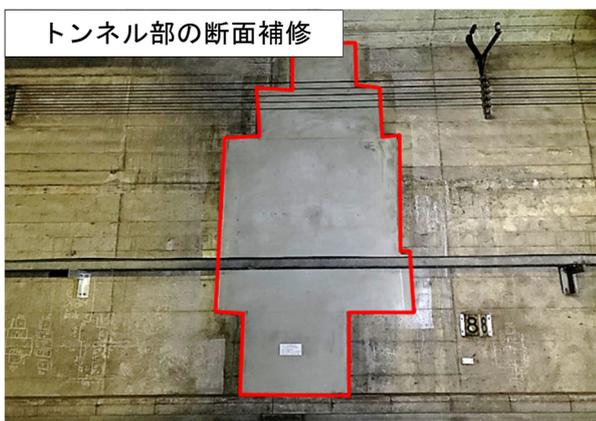
そのほか、姪浜車両基地の安定的な機能維持のため、建築物等の経年劣化に対応した改修事業を推進した。

イ 災害対策などの強化

41,854千円 (75,526千円)

局地的な集中豪雨などによる浸水に備え、駅施設の浸水対策を強化するため、駅出入口の経年劣化した止水板の改良を計画的に実施した。

また、バリアフリートイレの自動扉押しボタンの非接触化、エレベーターの非接触自動運転、駅や車両などにおける消毒の実施など、感染症対策に継続して取り組んだ。



(単位：千円)

| 事業名 | 最終予算額 A | 決算額 B | 翌年度 繰越額 C | 不用額 A-(B+C) | 備考 |
|----------------------|------------|-----------|-----------------|----------------|---|
| ア 施設、車両などの 安全性の確保 | 2,089,705 | 1,931,493 | 133,155 | 25,057 | |
| 土木構造物補修工事 | 221,048 | 219,129 | - | 1,919 | トンネル断面修復 等 |
| 駅内外装改修 | 231,600 | 214,223 | - | 17,377 | 駅内外装改修工事 (博多・中洲) 駅内外装改修工事実施 設計(室見) |
| 自動列車制御装置 (ATC)更新 | 383,977 | 383,977 | - | - | 対象駅:貝塚駅 (7 駅中 7 駅目) |
| 七隈線運行管理 システム更新 | 317,568 | 314,108 | - | 3,460 | 主要機器の更新 等 |
| 2000系車両大規模 改修 | 266,795 | 266,047 | - | 748 | 車体の補修、主要機器 の更新 等 |
| 3000系車両列車制御 装置更新 | 520,036 | 518,540 | - | 1,496 | 自動列車制御装置・自 動列車運転装置の更新 等 |
| 姪浜車両基地大規模 改修 | 143,000 | 9,845 | 133,155 | - | 検車庫大規模改修工事 等 |
| 1000N系車両更新 事業 | 5,681 | 5,624 | - | 57 | 新造車両の製作 (消耗品の購入) |
| イ 災害対策等の強化 | 65,531 | 41,854 | - | 23,677 | |
| 浸水対策事業 | 16,028 | 12,855 | - | 3,173 | 駅施設の浸水対策改良 工事 |
| 新型コロナウイルス 感染症対策 | 49,503 | 28,999 | - | 20,504 | 「バリアフリートイレ」の自動 扉押しボタンの非接触化、 エレベーター非接触自動 運転、駅や車両の消毒 等 |
| 合計 | 2,155,236 | 1,973,347 | 133,155 | 48,734 | |

()内は前年度決算額

② 快適で質の高いサービスの提供

161,387 千円 (1,650,448 千円)

お客様により満足いただける高品質なサービスを提供するため、スムーズな輸送サービスや快適・便利な環境づくりに取り組むとともに、高齢者や障がいのある人に対応したサービスの提供や来街者にも使いやすい環境整備など「ユニバーサル都市・福岡」にふさわしい地下鉄に向けた取組みを推進した。

ア 快適・便利な環境づくり

141,318 千円 (1,597,797 千円)

お客様に安心・快適にご利用いただくため、乗車マナー向上やより安全な乗降の確保に向けた取組みを継続するとともに、駅の空調設備を改善した。

また、2000N系車両及び3000系車両の車内に防犯カメラを設置するとともに、天神駅及び博多駅に防犯カメラを増設するなど、効果的な防犯対策に取り組んだ。

イ 来街者にも使いやすい環境整備とサービスの提供

20,069 千円 (52,651 千円)

福岡市を訪れる国内外からのお客様等の利便性向上を図るため、引き続き地下鉄駅コンシェルジュを配置するとともに、「世界水泳選手権福岡大会・世界マスターズ水泳選手権九州大会」期間中は福岡空港駅にも配置した。

また、車両等の非常用設備について、設置位置や使用方法等をわかりやすく表示するなど、案内サインの充実に取り組んだ。

乗車マナーの向上(エスカレーター音声案内)



防犯対策の強化(車内防犯カメラ)



インバウンド対策(博多駅コンシェルジュ)



非常用設備表示ステッカーの設置



(単位：千円)

| 事業名 | 最終予算額 A | 決算額 B | 翌年度 繰越額 C | 不用額 A-(B+C) | 備考 |
|----------------------------------|------------|----------|-----------------|----------------|---------------------------------|
| ア 快適・便利な環境 づくり | 214,872 | 141,318 | 14,670 | 58,884 | |
| 乗車マナーの向上 | 72,579 | 39,094 | - | 33,485 | 乗車マナー向上キャンペーン、エスカレーター音声案内装置設置 等 |
| 防犯対策の強化 | 46,583 | 38,145 | - | 8,438 | 車内・駅防犯カメラの設置等 |
| 混雑の緩和 | 1,282 | 925 | - | 357 | 3000A系車両予備品購入等 (再掲額を含む) |
| より安全な乗降の 確保 | 47,520 | 43,362 | - | 4,158 | 3000系車両半自動モード導 入改良 |
| 駅空調の改善 | 46,908 | 19,792 | 14,670 | 12,446 | 空調設備の改善 (野茶・茶山・桜坂) |
| イ 来街者にも使い やすい環境整備と サービスの提供 | 21,906 | 20,069 | - | 1,837 | |
| インバウンド対策 | 21,906 | 20,069 | - | 1,837 | 車内案内表示器の改修、地 下鉄駅コンシェルジュ 等 |
| 合計 | 236,778 | 161,387 | 14,670 | 60,721 | |

()内は前年度決算額

③ まちづくりへの貢献 197,217千円 (1,511,569千円)

福岡のまちの発展に貢献するため、駅周辺のまちづくりに対応した駅施設の改良や、沿線の地域、イベント、施設などと連携した取組みを推進した。

また、脱炭素化の推進など環境対策に関する取組みを推進した。

ア 沿線まちづくりに対応した駅施設の改良など ー 千円 (205,257千円)

博多駅筑紫口において、駅リニューアルの一環として、新たな店舗区画を創出し、お客様にとってより魅力的な店舗の誘致を図ることとしていたが、全国的な電設資材不足による工期延長のため、令和6年度に繰越を行った。

イ 沿線の地域、イベント、施設などとの連携 2,683千円 (273千円)

駅ごとの近隣の街並みや地域の歴史、観光資源等の特性を踏まえた駅の魅力づくりに取り組むことにより、各駅の個性化・活性化を図るとともに、各駅の魅力を効果的に発信した。

また、「世界水泳選手権福岡大会・世界マスターズ水泳選手権九州大会」の気運醸成と地下鉄利用の促進を図るため、車内での案内放送や駅の装飾等を実施した。

ウ 環境対策に関する取組み 194,534千円 (1,306,039千円)

省エネのため、トンネル内の照明や駅構内の電照広告等のLED化を計画的に実施し、使用する電力の削減に取り組んだ。

また、脱炭素化を推進するため、再生可能エネルギー由来電力を計画的に導入した。



(単位：千円)

| (単位：千円)分 | 最終予算額 A | 決算額 B | 翌年度 繰越額 C | 不用額 A-(B+C) | 備考 |
|--------------------------------|------------|----------|-----------------|----------------|--|
| ア 沿線まちづくりに 対応した駅施設の 改良など | 23,592 | - | 23,592 | - | |
| 博多駅筑紫口 リニューアル事業 | 23,592 | - | 23,592 | - | 利便施設改良工事 |
| イ 沿線の地域、 イベント、施設 などとの連携 | 3,451 | 2,683 | - | 768 | |
| 世界水泳選手権 大会との連携 | 2,654 | 2,193 | - | 461 | 案内放送、駅装飾、地下 鉄駅コンシェルジュ 等 (再掲額を含む) |
| 駅の魅力づくり | 797 | 490 | - | 307 | 駅装飾 等 |
| ウ 環境対策に関する 取組み | 234,757 | 194,534 | - | 40,223 | |
| 駅照明等のLED化 改良工事 | 108,942 | 98,462 | - | 10,480 | トンネル内照明のLED化、 電照広告のLED化 等 |
| 再生可能エネルギ ー由来電力の利用 推進 | 125,815 | 96,072 | - | 29,743 | 地下鉄用電力への計画的 導入 |
| 合計 | 261,800 | 197,217 | 23,592 | 40,991 | |

()内は前年度決算額

④ 経営基盤の強化

49,171 千円 (44,888 千円)

新型コロナウイルス感染症の影響など、経営環境の大幅な変化に対応するため、地下鉄の中長期的な経営の基本計画である経営戦略の再構築に取り組んだ。

また、経営基盤を強化するため、戦略的な営業施策の推進、広告・駅ナカ事業収入の確保や遊休資産の有効活用に取り組んだ。

そのほか、地下鉄を支える人材の計画的な確保と育成に取り組んだ。

ア 経営戦略の再構築

105 千円 (148 千円)

新型コロナウイルス感染症の影響など、経営環境の大幅な変化に対応するため、地下鉄の中長期的な経営の基本計画である経営戦略について、新たな基本計画となる「長期ビジョン」と実施計画である「中期経営計画」への再構築に着手した。

イ 戦略的な営業施策の推進

21,465 千円 (28,098 千円)

新型コロナウイルス感染症の影響により大幅に減少したお客様の地下鉄利用を促進するため、七隈線延伸開業を契機として、観光資源を活かした周遊コースの開発・情報発信や集客施設等との連携したイベント等の戦略的営業施策を実施するなど、地下鉄利用の魅力の向上を図った。

ウ 新技術の積極的な活用

8,623 千円 (443 千円)

福岡市実証実験フルサポート事業を活用した「クレジットカードの非接触決済機能を活用した鉄道改札通貨に関する実証プロジェクト」により、お客様の利便性・快適性などに資する新たな技術の活用に取り組んだ。

エ 人材確保と育成

18,978 千円 (16,199 千円)

交通局人材育成プランに基づき、専門的かつ高度な知識や技術を有する人材を育成していくため、研修の充実に取り組むとともに、鉄道に関する幅広い知識の習得や専門技術の向上に向けた取組みを推進した。

マーケティングに基づく営業戦略

地下鉄フェスタ2023



沿線周遊イベント



(単位：千円)

| 事業名 | 最終予算額 A | 決算額 B | 翌年度 繰越額 C | 不用額 A-(B+C) | 備考 |
|-----------------|------------|----------|-----------------|----------------|---------------------------|
| ア 経営戦略の再構築 | 320 | 105 | - | 215 | |
| 経営戦略の再構築 | 320 | 105 | - | 215 | 福岡市地下鉄経営戦略懇話会開催経費 |
| イ 戦略的な営業施策の推進 | 24,316 | 21,465 | - | 2,851 | |
| マーケティングに基づく営業戦略 | 24,316 | 21,465 | - | 2,851 | 地下鉄フェスタの開催、周遊コース開発・情報発信 等 |
| ウ 新技術の積極的な活用 | 9,123 | 8,623 | - | 500 | |
| キャッシュレス決済手段の拡充 | 9,123 | 8,623 | - | 500 | タッチ決済乗車実証実験の拡充 |
| エ 人材確保と育成 | 20,849 | 18,978 | - | 1,871 | |
| 安全・安心を支える人材の育成 | 20,849 | 18,978 | - | 1,871 | 基本研修、派遣研修、資格取得支援 等 |
| 合計 | 54,608 | 49,171 | - | 5,437 | |

()内は前年度決算額

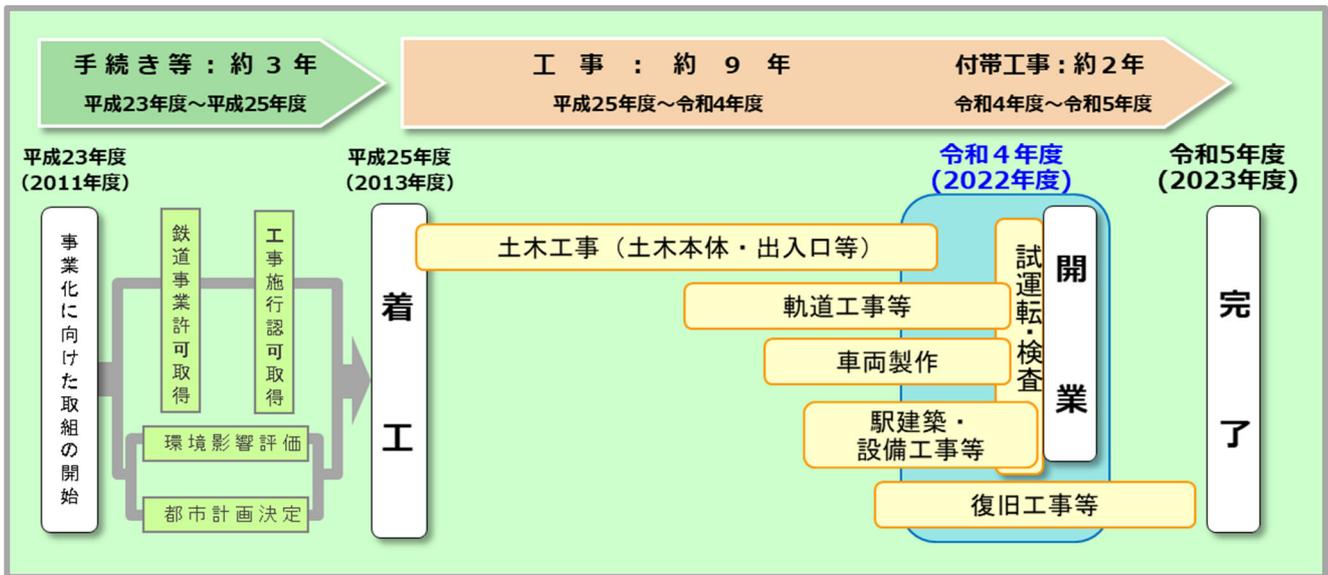
⑤ 七隈線延伸事業の推進

295,077 千円 (14,227,904 千円)

安全対策に万全を期しながら、道路本復旧工事等を実施し、事業は完了した。

<事業の概要>

- ◇延伸区間 天神南～博多
- ◇建設キロ 約1.4 km (営業キロ約1.6 km)
- ◇事業費 60,215,102 千円
- ◇開業日 令和5年3月27日



(単位：千円)

| 事業名 | 最終予算 A | 決算額 B | 翌年度 繰越額 C | 不用額 A-(B+C) | 備考 |
|---------|-----------|----------|-----------------|----------------|-----------|
| 七隈線延伸事業 | 295,078 | 295,077 | - | 1 | 道路本復旧工事 等 |

※上記には高速鉄道事業会計以外の負担により施工する受託工事費等を除く